

現代社会の課題の取り組み方

講師：高沼 大貴

はじめまして。今年度、第1学年の現代社会を担当する高沼です。

1年間どうぞ、よろしくお願いします。

5月分課題の取り組み方を以下に記載しますので、計画を立てながら取り組んで下さい。

[課題一覧]

- ・現代社会の課題①～④
- ・現代社会の課題 解答用紙
- ・現代社会の確認テスト(問題)
- ・現代社会の確認テスト(解答)

[取り組み方]

現代社会の課題

課題①～④のプリントには、空欄があります。(例)地球の(①)の維持
各課題右上部に教科書の該当ページが書かれています。そのページを参照し解答を導いて下さい。
解答は『現代社会の課題 解答用紙』に記入して下さい。
※課題①～④に直接解答を記入しても構いませんが、今回提出を求めるのは解答用紙のみです。

現代社会の確認テスト

課題①～④のまとめ問題になっています。
自分の理解度をはかる目安として学習してください。

[取り組む上でのヒント]

現代社会の課題

各課題の空欄は、基本教科書の重要事項(太黒文字)を中心に抜き出しています。
教科書で解答が分からなかった場合、資料集等も活用して下さい。

現代社会の確認テスト

今回は提出を求めませんが、学校再開後のテストでは、確認テストからの出題も予定しています。
模範解答を付けているので、自分のペースでの学習をオススメします。

[提出物]

『現代社会の課題 解答用紙』のみ

※他の現代社会の課題は、学校再開後使用する予定ですので、印刷し各自保管しておいて下さい。

[その他・備考]

今回の課題は、成績評価の対象になります。
空欄の解答が分からない部分は、未記入で提出しても構いません。
課題に取り組む上で不明点があれば、海国の高沼まで連絡して下さい。

現代社会 ① ～地球環境問題と資源・エネルギー問題～ 教科書 p.6～19

テーマ 1 地球環境問題

(1) 地球環境問題

- 地球環境問題は、人間の活動が急速に拡大し、環境への負荷が増大して起こっている。
→地球の(①)の維持、浄化能力に深刻な影響を与えている。
- なぜ環境問題が深刻化したか。
→18世紀の産業革命以来、経済活動は工業が中心に
→20世紀には生産・消費活動はさらに拡大。
- いまや環境問題は地球規模でとらえる問題になっている。
その動きは、1972年にストックホルムで開かれた、国連人間環境会議以降、拡大
→1980年代には(②)という考え方がされるようになった。
└─▶ 環境をそこなうことなく開発することが持続的な発展につながる。
→1992年にはリオデジャネイロで国連環境開発会議が開催。
(③)や、リオ宣言などが採択された。

地球温暖化

- 原因：(④)
- 影響： 海水面の上昇、異常気象
- 対策： 1992年の地球サミットで、気候変動枠組み条約を採択
1997年の第三回締約国会議で、(⑤)採択
2015年には、パリ協定を採択

オゾン層の破壊

- 原因：(⑥)ガスによる
- 影響： 紫外線の増加 ───▶ 皮膚がんなどを引き起こす恐れが高まる。
- 対策： 1987年モントリオール議定書を採択

酸性雨

- 原因： 硫黄酸化物や窒素酸化物
- 影響： 建造物が腐食、土が酸化 ───▶ (⑦)が破壊
- 対策： 長距離越境大気汚染条約

砂漠化

- 原因：(⑧)の減少
- 影響： 農業生産性の低下、貧困、都市への人口流出
- 対策： 1994年 砂漠化対処条約

生物多様性

- 地球上の様々な生物が環境に適応し、相互に共生したり食物連鎖したりする。
→環境が破壊されると、この関係も壊れてしまう。
→様々な対策がなされる。
例) 1971年ラムサール条約を採択、1973年ワシントン条約を採択
1992年(⑨)を採択

(2)日本の取組み

- 1997年の京都議定書批准以降、国内法を整備
→二酸化炭素の排出が少ない(⑩)を目指す

テーマ2 資源・エネルギー問題

(1) 資源・エネルギー問題

- 様々な資源がある。その中で、熱源や動力になるものを(11))という。
- 化石燃料や鉱産資源の特徴
 - ・(12))…埋蔵量に限りがある。
 - ・(13))…産出地域に偏りがある。

→国際情勢によって価格が大きく変動する。

※半導体の材料に使われるレアメタル、レアアースなど希少金属も重要。

☆日本は資源が乏しい→資源・エネルギーの輸入依存度が高い。

(2) エネルギー利用とその変化

- 産業革命以来、石炭が主なエネルギー源
 - 1960年代には、石油がエネルギーの中心になる。=(14))
 - 1970年代、石油危機をきっかけに、天然ガスや原子力などを導入。
→(15))とよばれる。
- 省エネルギー対策が推進され、(16))の技術開発も進められる。

☆二酸化炭素をできるだけ出さない脱炭素社会を実現していくための努力が必要。

(3) 原子力発電

- 原子力発電の特徴
 - ・メリット：電力の安定、(17))を出さない
 - ・デメリット：安全性の問題、(18))の処理に課題
- 原子力発電所の事故
 - 1973年 スリーマイル島原子力発電所(アメリカ)
 - 1986年 チェルノブイリ原子力発電所(旧ソ連、現ウクライナ)
 - 2011年 福島第一原子力発電所(日本)

(4) 再生可能エネルギー

再生可能エネルギー…自然エネルギーのような、半永久的に利用できるもの。

→水力、風力、地熱、太陽光、バイオマス など

(5) 低炭素社会の実現のために

- (19))の導入、燃料電池や蓄電器の開発、ITを活用した省エネ型の都市(20))
→環境に悪影響を及ぼす物質に課税 など

☆環境・資源問題は現代社会の最重要問題の一つ。一人ひとりが対策を考えていくことが大切。

テーマ 3 科学技術の発展と生命

(1) 医療技術の発展と生命倫理

- 近年、医療技術の発展が著しい

例) 生殖技術、移植技術、遺伝子技術など

→生命や人の生と死のあり方について、人為的な選択肢が拡大。

→その結果、様々な問題が発生してきた。

例) 尊厳死や安楽死を認めるべきか、出生前診断など

→これらの問題について考えていくのが、(①)。

近年では、生命の尊厳(SOL)・生命の質(QOL)などについて考察を試みている。

(2) 脳死と臓器移植

- 脳死… 脳幹をふくめ、脳全体の機能が不可逆的に失われた状態。

- 1997年(②)が施行、「臓器移植の場合に限って、脳死が人の死」に

→移植が必要な人にとってはありがたい。

一方、様々な問題点も…

例) 救命医療が十分に行なわれないおそれ、患者・家族のプライバシー問題など

※ 2010年に改正臓器移植法が施行。

臓器提供者の年齢制限の撤廃、本人が拒否していなければ家族の同意で提供が可能になったなど

☆ 脳死の判定基準、提供臓器の公正な配分、医療体制、インフォームド・コンセントのあり方など課題は多い。

(3) 再生医療

- 再生医療… 失われた組織の回復をはかる医療。

代表例：(③)… 皮膚などの体細胞に特定の遺伝子を導入し、

どのような臓器や組織にも成長させることができる万能細胞。

(④)… 受精卵から成長する段階の胚を培養してつくられる万能細胞。

(4) バイオテクノロジーの進歩

- バイオテクノロジー… 生命の仕組みを解明し、産業に生かそうとするもの。

代表例：(⑤)… 「複製」という意味の言葉。同じ細胞や固体を指す。

問題点：クローン人間は倫理的に問題がある。

(⑥)… 遺伝子情報を指す。解き明かせば病気の診断や治療に役立つ。

※ ヒトゲノムは、2003年に解読完了

問題点：人権侵害につながる危険性、就職や保険加入時の差別など

☆ 技術の進歩は役立つものだが、その運用には注意が必要

(5) 遺伝子組み換え【GM】

メリット：病気や(⑦)に強い、安定した食料供給

デメリット：安全性に問題がある、生態系や環境に悪影響

※ 日本では、2001年からその表示が義務付けられている。

テーマ 4 情報化の進展と生活

(1) 情報化社会への歩み

- 人間が**情報**を得るとき、言語を用いた(⑧))が大きな役割を果たす。
- 昔は、対面でお互いに話す(⑨))が唯一の手段だった。
→ 新聞・ラジオ・テレビなど(⑩))を用いた、(⑪))が発達。

↓

- 今日では、**インターネット**をはじめとする新しいメディアから膨大な情報が提供される。
→ 情報の働きが大きな意味をもつ(⑫))になった。
しかし、すべての情報が真実とは限らない。
⇒ (⑬))を養うことが極めて重要。

(2) 情報化の進展と社会の変化

- コンピュータ技術とネットワーク技術の急速な発展・普及によって、(⑭))が起こる。
→ (⑮)) **【ICT】**)が、生活の様々な場面で活用できるようになった。
例) 電子マネー ATM カーナビ など
また、今日では(**電子商取引【e コマース】**)盛んに行われている。
↳ 企業間：B to B 企業と消費者：B to C 消費者間：C to C
- (⑯))が普及し、コミュニケーションスタイルも変化した。

(3) 情報化社会の危険性

- 情報化の進展は新しい問題やトラブルを生み出している。
→ データの複製が簡単のため、(⑰))の侵害が起こったり、使いこなせる人とそうでない人の間で(⑱)) **【デジタル・デバイド】**)が生じたりする。

☆ 情報ネットワーク社会では、幅広い(⑲))を身に着けていく必要がある。

(4) 情報化社会の未来

- 情報化の進展はきわめて速い。
→ 法律などが徐々に制定されていく。
例) 不正アクセス禁止法、**個人情報保護法**
しかし、人々の意識や法制定現は現実に追いついていない。
⇒ 人間の(⑳))が大切になる。

情報化社会のリテラシー

技術リテラシー…情報通信技術(ICT)を活用する能力

メディア・リテラシー…メディアが発信する情報の真偽を判断する能力

情報リテラシー…情報通信技術(ICT)やインターネット等を通じて、情報を収集・活用・発信する能力

第2部 第1章 1節 現代社会と青年期の生き方

1. 現代社会と青年

(1) グローバル化した社会

グローバル化…地球規模で人、モノ、カネ、サービスなどが相互に移動したり関係しあったりして世界の一体化が進むこと。

→ (①)との接触の機会も増える。

その際、お互いの生活習慣、宗教、言語、価値観など(②)を理解し、尊重しなければならない。

(2) 少子高齢化と人口減少社会

- 現代の日本は、老年人口(65歳以上)が総人口に占める割合(③)が大きい。(2017年において、27.7%)

※高齢化率

7%以上で高齢化社会、14%以上で高齢社会、21%以上で(④)

高齢化の要因：医療の発達 / 豊かな社会 / 若者の減少 など

→ 今後も高齢化率は上昇していくと推計される。

- 同時に、(⑤)も進行している。

1人の女性が生涯に生む子どもの平均出生率(⑥)は、年々低下している。

※人口再生産に必要な値は、(2, 08)といわれている。

少子化の要因：晩婚化・非婚化の進行、(⑦)が多く、育児を行う社会的環境が未整備など

- 現代の日本は、少子化と高齢化が同時進行しているため、(少子高齢化社会)となっている。

→ 出生者数より死亡者数のほうが多いため、(⑧)に突入している。

(3) 変化する現代社会に生きる

- グローバル化が進み…

- 少子高齢社会だと…

⇒ 雇用に関する問題が生じる。

☆ どのように働き、どのように生きるか、自分の(⑨)の考えを見通していく必要が求められる。

そのために、今何をしなければならないかをよく考えて行動していく必要がある。

2. 青年期の発達課題

(1) 青年期の特徴

- 人間が新生児として生まれ、成長していく過程のことを(10)という。
→ 高校生前後の時期を発達上、(11)【思春期】という。
- 青年期は様々な言い方であらわされる。
例) 第二の誕生、心理的離乳、境界人【マージナルマン】、第二反抗期など
- 青年期は(12)のような身体的発達だけでなく、心理的発達や社会的発達も著しい。
心理的発達：自分で考え行動しようとする/知的で高度で複雑なものを理解し、考えたりする
社会的発達：同性・異性間の友人関係を広げる→結婚、就労、経済的独立

※ 伝統的な社会では、この時期に**成年式**という(13)が行われ、社会的に大人の仲間入りとなされてきた。

(2) 現代の青年期

- 産業化が進んだ社会では、青年期が長くなり、就労や結婚の時期が遅くなっている。
→ 身体的発達が完了しても、心理的・社会的発達が完了しないことがある。
なぜか…
⇒ 長い猶予期間 (14)が与えられている。
それを生かして、(15)や(16)に参加する人も増加。
- 余裕のある時間や自由な気風が、(17)を生み出すこともある。

(3) アイデンティティの確立

- 青年期は『自分らしさ』を求める気持ちが強くなる。
→ 「これが自分だ」というまとまりを持った確信のことを(18)という。
☆ 青年期はアイデンティティを確かなものにする時期である。
- 同時に、アイデンティティが危機を迎える時期でもある。
→ 『自分らしさ』が見いだせない不安から(19)【アパシー】におちいる。
あるいは、「仲間と同じであること」を意識しすぎたりする。
⇒ このようにアイデンティティを見失うことを(20)という。
☆ 「自分らしさ」が通用するか、様々な人間関係の中で試していくことが大切。

1. 自己形成と社会とのかかわり

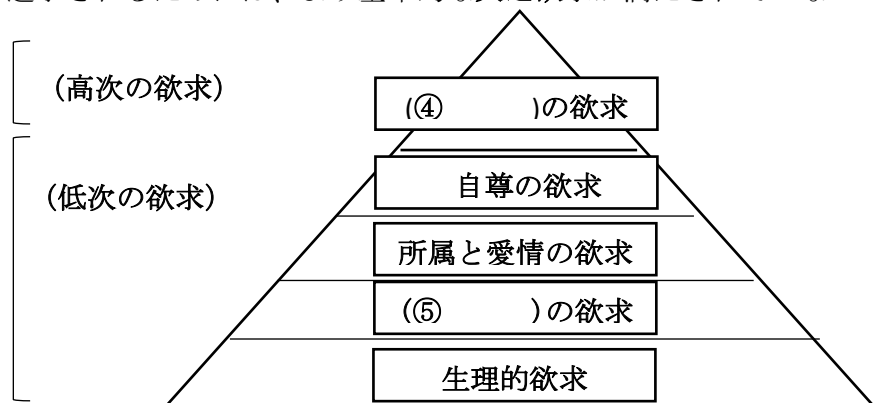
(1) 欲求と行動

欲求…行動の原動力となる内的な状態・原因のこと。

※ 食欲・性欲・睡眠欲などの(①))=一次的欲求と、
 名誉欲・金銭欲などの(②))=二次的欲求とに分けられる。

◎ マズローの欲求階層説

- アメリカの心理学者 マズローは、欲求は一度にははたらかず、一定の(③))があるとした。
 → 自己を実現させる(=成長欲求)が追求されるためには、より基本的な欠乏欲求が満たされていないなければならない。



(2) 欲求不満と適応

- (⑥) 【フラストレーション】… 欲求が満たされていない状態
- (⑦) 【コンフリクト】… やりたいこと、あるいはやりたくないことがいくつかあり、そのどれかを選ばなければならないこと
 ⇒ このような場合、工夫や努力を行い、(⑧))をとることが望ましい。
 → 合理的で、社会に受け入れられる行動。

しかし、そのような行動が見いだせないと、防衛機制や不適応行動が生じる。

◎ 防衛機制

- オーストリアの精神医学者 フロイトが提唱。
 欲求が満たされない時、自己を守り、欲求不満を解消するために自我がとる無意識の働き。

抑圧	嫌な感情や記憶などを、無意識のなかに閉じ込める。
(⑨))	欲求が満たされないことを、理由をつけて正当化する。
同一視	他者のもつ特性を自分も持っていると思いこむ=取り入れ 望ましくない自分の感情や考えを他人のものだと思い込む=(⑩))
反動形成	自分の欲求をおさえるために、欲求と反対の行動をとる。
逃避・退行	欲求が満たされない時、その欲求を忘れるような行動をとったり、幼稚な行動をとったりする。
(⑪))	あることに劣等感を持っているとき、ほかの事で優位に立って補おうとする =(代償・補償) そのまま満たすことのできない欲求を社会に受け入れられる行動に転化する =(昇華)

(3) パーソナリティの形成

- 適応行動をとるためには「がまん」することも必要。
→ 「がまん」できることを(12) 【フラストレーション・トレランス】)が高いという。
- がまん強く(13))を繰り返し、少しずつ成功体験を積み重ねていき、「自分らしさ」を備えた、成熟した(人格【パーソナリティ】)を形成していくことが大切。
→ 社会との接触が増える青年期以降、様々な(14))が加わっていく。

☆ 青年期は、人間関係の幅を広げ、様々な役割を引き受け、社会の中で自分の欲求を上手に表現していく方法を身につける時期。

2. 進路と生きがいの創造

(1) キャリアの開発

- 青年期は、将来の職業生活に必要な知識・技能を身につけることがもとめられる。
しかし今日では、職業を選び、進学先や就職先を決めるだけでは不十分。
→ (15))といわれる将来にわたる自分の生き方を考えながら人生を設計する(16))の考え方が必要。
⇒ 余暇の過ごし方や趣味、退職後の生活など全体的に考えていく必要がある。
それらは、すべて(17))に関連してくる。

☆ キャリア開発とは、自分のライフサイクルを考えつつ、「生きがい」をつくっていくこと。

(2) キャリアと生きがい

- キャリアは人生の総体なので、職場だけでなく、家事、育児、介護などにおける自分の役割を探していかなければならない。

※ その際に、(18))を固定的にとらえるのは良くない

↳ 社会的につくられた性差のこと

☆ 社会の変化に応じた(19))を行いつつ、(20))を意識して、「生きがい」を創造することが大切。

現代社会課題 解答用紙

[名前 _____]

現代社会課題①～④のプリントの解答を、以下の該当の欄に記入して下さい。

※注意点等は、『現代社会の課題の取り組み方』の内容を参照してください。

現代社会 課題①

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

現代社会 課題②

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

現代社会 課題③

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

現代社会 課題④

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

解答の書き間違い、名前の記入漏れ等がないか、確認して下さい。

このプリントは、他の教科課題と同様に郵送にて提出して下さい。

お疲れ様でした！！

現代社会の確認テスト(問題)

氏名 ()

1. 1972年に開催された、環境問題を地球規模でとらえる考え方を広めた国際会議は何か。
()
2. 環境を損なうことなく、開発を進めることが発展につながるという考え方は何か。
()
3. 二酸化炭素、メタンなど温室効果ガスの濃度が高まり、地球の大気温度が上昇する現象を何というか。
()
4. 1992年の地球サミットで採択された、温室効果ガス濃度を安定化させ、気候の保護を目的にした条約は何か。
()
5. 1997年の京都会議で採択された、二酸化炭素排出抑制について法的拘束力を持つ議定書は何か。
()
6. 2015年に採択された、温暖化対策のための新たな国際的枠組みは何か。
()
7. 硫黄酸化物や窒素酸化物による大気汚染が原因となって引き起こされる環境問題は何か。
()
8. 森林の過剰伐採等により、植生に覆われた土地が植物の育たない不毛地になっていく現象を何というか。
()
9. 1971年に採択された、水鳥の生息地の湿地を保全するための条約は何か。
()
10. 1973年に採択された、絶滅の恐れのある野生生物の種の国際取引を規制した条約は何か。
()
11. 石炭や石油などの熱源や動力になる資源を何というか。
()
12. 1960年代以降、石炭から石油へとエネルギー資源の中心が変化した現象を何というか。
()
13. 1970年代、第四次中東戦争やイラン革命などをきっかけとして、石油価格の引き上げが起こった結果生じた経済混乱を何というか。
()
14. 原子力や天然ガスなど、石油に代わるエネルギーを何というか。
()

15. 1986年、ソ連(現在地はウクライナ)で重大な事故を起こした原子力発電所の名前は何か。
()
16. 2011年、日本で爆発事故を起こしたのは何という発電所か。
()
17. 太陽光、風力、波力、地熱などのエネルギーを総称して何というか。
()
18. 「脳死が人の死」と定められている法律は何か。
()
19. 医師が病状・治療内容を正しく説明し、患者の納得・同意の下で治療を進める行為を何というか。
()
20. 受精卵から成長する段階の胚を培養してつくられる万能細胞は何か。
()
21. 患者自身の細胞を使用し、遺伝子操作することによってつくられる万能細胞は何か。
()
22. 2003年に解読が完了した、人の遺伝情報の全体を何というか。
()
23. ある動物の体細胞から、全く同じ遺伝子を受け継いだ動物を作り出す技術を何というか。
()
24. 遺伝子工学の技術を用いて、有益な性質をもつ遺伝子を組み込んでつくられる作物を何というか。
()
25. テレビやラジオなどのマスメディアによって不特定多数の受け手に情報を伝達する行為を何というか。
()
26. 伝えられた情報が正しいか見極めるために必要な、知識や能力を何というか。
()
27. 他の国や地域とのかかわりが増え、人やモノ、カネ、サービスなどが地球規模でやり取りされ、一体化が進む現象を何というか。
()
28. 一人の女性が生涯に産む子どもの平均出生率を何というか。
()
29. 老年人口が増え、平均出生率は減少するような社会を何というか。
()

30. 死亡者数が出生者数を上回る社会を何というか。
()
31. 夫婦のみ、あるいは親と未婚の子どもからなる家族を何というか。
()
32. ルソーは青年期を何と言いついたか。
()
33. レヴィンは青年期を何と言いついたか。
()
34. 成年式など発達段階の節目に行われるものは何か。
()
35. 青年期に与えられる、心理的・社会的に発達していくための猶予期間をカタカナで何というか。
()
36. エリクソンの発達課題において、青年期に確立しなければならないものは何か。
()
37. 自分らしさが見いだせない無気力状態を何というか。
()
38. アイデンティティの喪失を何というか。
()
39. 生まれつきの性質や子どもの頃に身に着けた性格に、人間関係などを通じて身に着けた社会的な性格が加わって形作られるその人の心の全体像を何というか。
()
40. 社会文化的につくられた性差のことを何というか。
()
41. 1985年に制定され、募集や配置や昇進などにおいて、性別での差別を禁止した法律は何か。
()
42. 1999年に制定された、男女それぞれの人権が尊重され、対等な社会の構成員として社会活動への参画を目指し、制定された法律は何か。
()
43. 近年、話題にも挙げられる、仕事と生活の調和を何というか。
()
44. 欲求不満を解消する無意識の心の動きを、防衛機制と名づけたのは誰か。
()

45. 防衛機制について、下の空欄を埋めなさい。

()	欲求を無意識のうちに抑え、苦痛を感じないようにすること。
()	もっともらしい理由をつけ、自分は正しいと思い込む。
()	自分の欠点を相手の欠点だと思い込む。
()	やりたいことと反対の行動をとる。
()	満たされない欲求を別のもので満たそうとする。
()	芸術やスポーツなど、社会的価値の高いものに情熱を向ける。
()	子どもにかえり、低い次元の欲求で満足する。

現代社会の確認テスト(解答)

氏名 ()

1. 1972年に開催された、環境問題を地球規模でとらえる考え方を広めた国際会議は何か。
(国連人間環境会議)
2. 環境を損なうことなく、開発を進めることが発展につながるという考え方は何か。
(持続可能な開発)
3. 二酸化炭素、メタンなど温室効果ガスの濃度が高まり、地球の大気の温度が上昇する現象を何というか。
(地球温暖化)
4. 1992年の地球サミットで採択された、温室効果ガス濃度を安定化させ、気候の保護を目的にした条約は何か。
(気候変動枠組み条約)
5. 1997年の京都会議で採択され、二酸化炭素排出抑制について法的拘束力を持つ議定書は何か。
(京都議定書)
6. 2015年に採択された、温暖化対策のための新たな国際的枠組みは何か。
(パリ協定)
7. 硫黄酸化物や窒素酸化物による大気汚染が原因となって引き起こされる環境問題は何か。
(酸性雨)
8. 森林の過剰伐採などにより、植生に覆われた土地が植物の育たない不毛地になっていく現象を何というか。
(砂漠化)
9. 1971年に採択された、水鳥の生息地の湿地を保全するための条約は何か。
(ラムサール条約)
10. 1973年に採択された、絶滅の恐れのある野生生物の種の国際取引を規制した条約は何か。
(ワシントン条約)
11. 石炭や石油などの熱源や動力になる資源を何というか。
(エネルギー資源)
12. 1960年代以降、石炭から石油へとエネルギー資源の中心が変化した現象を何というか。
(エネルギー革命)
13. 1970年代、第四次中東戦争やイラン革命などをきっかけとして、石油価格の引き上げが起こった結果生じた経済混乱を何というか。
(石油危機(オイルショック))

14. 原子力や天然ガスなど、石油に代わるエネルギーを何というか。
(石油代替エネルギー)
15. 1986 年、ソ連 (現在地はウクライナ) で重大な事故を起こした原子力発電所の名前は何か。
(チェルノブイリ原子力発電所)
16. 2011 年、日本で爆発事故を起こしたのは何という発電所か。
(福島第一原子力発電所)
17. 太陽光、風力、波力、地熱などのエネルギーを総称して何というか。
(再生可能エネルギー)
18. 「脳死が人の死」と定められている法律は何か。
(臓器移植法)
19. 医師が病状や治療内容を正しく説明し、患者の納得と同意を得て治療を進める行為を何というか。
(インフォームド・コンセント)
20. 受精卵から成長する段階の胚を培養してつくられる万能細胞は何か。
(ES 細胞)
21. 患者自身の細胞を使用し、遺伝子操作することによってつくられる万能細胞は何か。
(iPS 細胞)
22. 2003 年に解読が完了した、人の遺伝情報の全体を何というか。
(ヒトゲノム)
23. ある動物の体細胞から、全く同じ遺伝子を受け継いだ動物を作り出す技術を何というか。
(クローン技術)
24. 遺伝子工学の技術を用いて、有益な性質をもつ遺伝子を組み込んでつくられる作物を何というか。
(遺伝子組み換え作物)
25. テレビやラジオなどのマスメディアによって、不特定多数の受け手に情報を伝達する行為を何というか。
(マスコミュニケーション)
26. 伝えられた情報が正しいか見極めるために必要な、知識や能力を何というか。
(メディア・リテラシー)
27. 他の国や地域とのかかわりが増え、人やモノ、カネ、サービスなどが地球規模でやり取りされ、一体化が進む現象を何というか。
(グローバル化)
28. 一人の女性が生涯に産む子どもの平均出生率のことを何というか。
(合計特殊出生率)

29. 老年人口が増え、平均出生率は減少するような社会を何というか。
(少子高齢社会)
30. 死亡者数が出生者数を上回る社会を何というか。
(人口減少社会)
31. 夫婦のみ、あるいは親と未婚の子どもからなる家族を何というか。
(核家族)
32. ルソーは青年期を何と言い表したか。
(第二の誕生)
33. レヴィンは青年期を何と言い表したか。
(境界人(マージナル・マン))
34. 成年式など発達段階の節目に行われるものは何か。
(通過儀礼(イニシエーション))
35. 青年期に与えられる、心理的・社会的に発達していくための猶予期間をカタカナで何というか。
(モラトリアム)
36. エリクソンの発達課題において、青年期に確立しなければならないものは何か。
(アイデンティティ(自我同一性))
37. 自分らしさが見いだせない無気力状態を何というか。
(アパシー)
38. アイデンティティの喪失を何というか。
(アイデンティティ拡散)
39. 生まれつきの性質や子どもの頃に身に着けた性格に、人間関係などを通じて身に着けた社会的な性格が加わって形作られるその人の心の全体像を何というか。
(パーソナリティ)
40. 社会文化的につくられた性差を何というか。
(ジェンダー)
41. 1985年に制定され、募集や配置や昇進などにおいて、性別での差別を禁止した法律は何か。
(男女雇用機会均等法)
42. 1999年に制定された、男女それぞれの人権が尊重され、対等な社会の構成員として社会活動への参画を目指し、制定された法律は何か。
(男女共同参画社会基本法)
43. 近年、話題に挙がっている、仕事と生活の調和のことを何というか。
(ライフ・ワーク・バランス)

44. 欲求不満を解消する無意識の心の動きを、防衛機制と名づけたのは誰か。

(フロイト)

45. 防衛機制について、下の空欄を埋めなさい。

(抑圧)	欲求を無意識のうちに抑え、苦痛を感じないようにすること。
(合理化)	もっともらしい理由をつけ、自分は正しいと思いつむ。
(投射)	自分の欠点を相手の欠点だと思いつむ。
(反動形成)	やりたいことと反対の行動をとる。
(代償)	満たされない欲求を別のもので満たそうとする。
(昇華)	芸術やスポーツなど、社会的価値の高いものに情熱を向ける。
(退行)	子どもにかえり、低い次元の欲求で満足する。

以上